

全国書店員が選んだ
いちばん！
売りたい本

2025年本屋大賞

本屋大賞

大賞

『カフネ』

阿部 暁子（講談社）

2位

『アルプス席の母』

早見 和真（小学館）

3位

『小説』

野崎 まど（講談社）

4位

『禁忌の子』

山口 未桜（東京創元社）

5位

『人魚が逃げた』

青山 美智子（PHP研究所）

6位

『Spring』

恩田 陸（筑摩書房）

7位

『恋とか愛とかやさしさなら』

一穂 ミチ（小学館）

8位

『生殖記』

朝井 リョウ（小学館）

9位

『死んだ山田と教室』

金子 玲介（講談社）

10位

『成瀬は信じた道をいく』

宮島 未奈（新潮社）

2023年12月～2024年11月に刊行された

日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで
いちばんお勧めしたいと思った作品です。

全国の書店員の投票で

選ばれたベスト10

Supported by

NOLTY®

手帳ブランドNOLTY [ノルティ]は
本屋大賞を応援しています。

2025